

国土交通省

道企第833号

19.5.31



19まち対第13号
平成19年5月29日

国土交通省
道路局長 宮田 年耕 様

下諏訪町長 青木 悟



中期的な計画の策定にあたっての意見について

・下諏訪町として、重点化進める上で特に優先度が高いと考える政策

一般国道20号下諏訪岡谷バイパス第2工区と一般国道142号バイパスが平成16年に同時共用開始され、両バイパスが一体的に機能を始めました。これにより現道交通が両バイパスへ転換し、市街地の渋滞や、沿道環境等が大幅に改善され、バイパスの必要性を改めて実感しているところです。

しかしながら、現国道20号は生活と密着した主要幹線であり、バイパス未整備区間におきましては、依然として容量不足による交通混雑、沿道環境悪化等の問題が生じているのが実情であります。

また、昨年の平成18年7月豪雨災害により国道20号が37時間にわたり通行止めとなり、町内に通過車両があふれ災害活動にも支障をきたした他、地域住民の生活、経済に大きな影響を与えました。

このようなことから、バイパスの効果・重要性を充分に感じる中で、下諏訪町としましては以下の事業について優先度が高いと考えております。

- (1) 一般国道20号下諏訪岡谷バイパス第1工区の工事着手
- (2) 一般国道20号諏訪バイパスのルート確定と早期事業化
- (3) 現道国道20号富士見橋の架け替え

(長野県の脱ダム宣言により中止された下諏訪ダム事業に代わる砥川治水対策としての河川改修事業に関係)

今後とも事業推進により一層のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い致します。